

平成30年度 がん総合相談に携わる者に対する研修事業 の実施について

日本サイコオンコロジー学会

国立がん研究センター

先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

小川朝生

委託事業の内容

- ・ピア・サポーターに関する研修プログラムの改訂等
 - ① 医療関係者、カウンセラーなどの有識者やがん患者団体等の当事者による「研修プログラム改訂委員会」を設置し、ピア・サポートにおける**現状の取り組みや普及における問題点を調査・分析**のうえ、がん患者やその家族などが行うピア・サポートに必要な相談員の**基本的なスキルを身につけるための研修プログラムを見直し**、実際に試行的な運用を行うことにより、検証及び必要な改善を行う。
 - ② 委員会において検討された内容に基づく教材等を活用し、**地域統括相談支援センターや患者サロンの開催等に協力するピア・サポーター等に対して研修等を実施**する
 - ③ 研修の周知や参加申し込み、必要資料の提供等を行うホームページを開設し、運用する

ピアサポートの役割

- ヘルス・リテラシーの向上
- 体験の共有： 体験を語ることにより、乗り越えてきた姿を示す
- 情報提供： 病院の利用の仕方、支援の利用の仕方を活きた形で示す
(がん患者に対する心理社会的支援の基礎であり、情報提供と精神心理的支援の両者が一体となった支援)

注：

- 役割は「情報の提供」であり指示や助言ではない→ 「語り方」が大事
- 医療に関する情報には関与しない
- 情報を提供する役割で「促す」相談ではない

※ 日本では相談との誤解が多い

研修プログラムの見直しと研修会の開催

厚生労働省委託事業 平成30年度がん患者相談に関わる者に対する研修事業

ピアサポート養成研修会

ピアサポートをはじめよう!!

参加費 無料

日時 2019年2月9日(土)、10日(日)
9:00~17:00 (開場時間 8:30)

場所 TKP東京駅セントラルカンファレンスセンター10階
カンファレンスルーム10B、10C
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-16新橋町ビル

対象者 がん経験者で今後ピアサポートの活動を検討している方 **24名**
(ご自身の活動が盛り立てられる方)
医療従事者、行政関係関係者でピアサポートの活動に関心のある方 **24名**
※2日間参加できる方にご案内させていただきます。
※医療従事者・行政関係関係者の方のみ、がん患者と医療従事者・行政関係関係者との関係構築、連携の促進、推進、普及、普及促進を図ることを目的として開催いたします。

プログラム 「演習・ロールプレイ」を交えた研修です。
プログラムが決定しましたら、ホームページにてお知らせいたします。
※プログラムの内容に変更する可能性があります。またこのプログラムはテスト研修であることをご理解の上、お申し込み下さい。またこのプログラムの開催に付いたご費用を承知ください。
※お申し込みの際はご留意ください。
※お申し込みの受付は2018年12月31日(月)までです。

申込方法 下記のURLの応募フォームよりお申し込み下さい。
URL:<http://www.peer-spt.org/anna/>
締め切り:2018年12月31日(月)

主催 一般社団法人日本すいこもコンコロジー学会事務局 共催 一般社団法人全日本がん患者団体連合会
問い合わせ先 TEL:04-7134-0948 FAX:04-7134-7028 E-mail:info@peer-spt.org

- 先行事業で作成したテキストを見直し
- 構造化された研修プログラムに改訂
 - バウンダリー（境界）の追加
 - 行政・医療従事者向けプログラムを追加
 - がん体験者と医療従事者、行政関係者が一緒に受ける研修会を検討
- 研修会（トライアル）を開催しフィードバック⇒修正作業中

地域統括相談支援センターの概要

公益財団法人
日本対がん協会

・相談員（ピアサ
ポーター等）に対す
る研修プログラムの
策定・配布

国立研究開発法人
国立がん研究センター

相談員（看護師等）に
対する研修の実施

患者必携の配布

がん情報サービスサ
ポートセンターの設置

都道府県

【地域統括相談支援センター】

患者・家族らのがんに関する相談について、心理、医療や生活・介護など様々な分野に関する相談をワンストップで提供する「地域統括相談支援センター」を設置するほか、ピアサポーターを養成するための研修等を実施する。

がん診療連携拠点病院等
【相談支援センター】

相談

医療だけでなく、心理、生活、介護など、様々な相談を1か所で受けられるようにしてほしい

拠点病院の医師に対する不満、現在の治療に対する不安を聞いてほしい

他県に転居することになったため、転居先での医療機関を紹介してほしい

病院で治療方法がないと言われた。納得のいく医療情報（未承認薬や治験）がほしい

相談

がんに関する治療方法等について知りたい

セカンドオピニオンの提示が可能な医師を紹介してほしい

患者必携について聞きたい

患者・家族等

地域統括相談支援センター

- 47都道府県のうち14県に設置
- 相談支援の場と捉えている事が多い
(例：電話相談、対面相談)
⇒役割ががん診療連携拠点病院がん相談支援センターと重なることも
- 設置形式
 - 都道府県拠点病院併設型： 医療との連携はとりやすいが、役割分担があいまいになりがち
 - 独立設置型： 医療機関との連携に課題

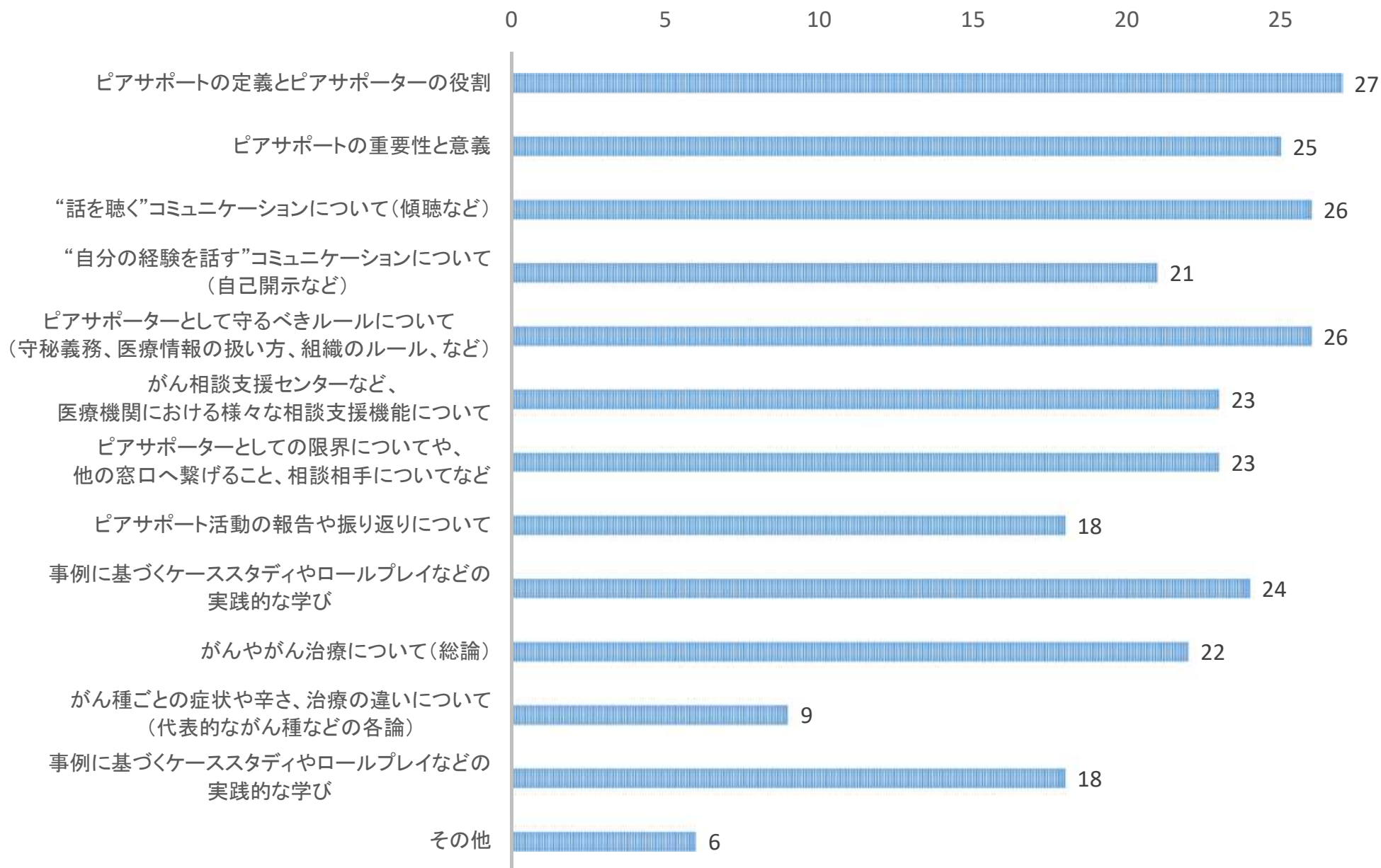
都道府県のピアサポートに関する取り組みの現状

- ピアサポートに関する取り組みを実施： 35都道府県
 - ピアサポートの養成： 29都道府県
(21都道府県が他機関に委託)
 - フォローアップ研修： 23都道府県
(15都道府県が他機関に委託)
 - ピアサポートの情報の把握・管理： 13都道府県
(修了後の実践や面接等の条件設定
5都道府県)
 - ピアサポートの実施： 19都道府県
(15都道府県が他機関に委託)

1. 他機関への委託をしている都道府県が半数以上
2. 研修後の実施、管理まで行っている都道府県は少ない

ピアサポートの研修内容

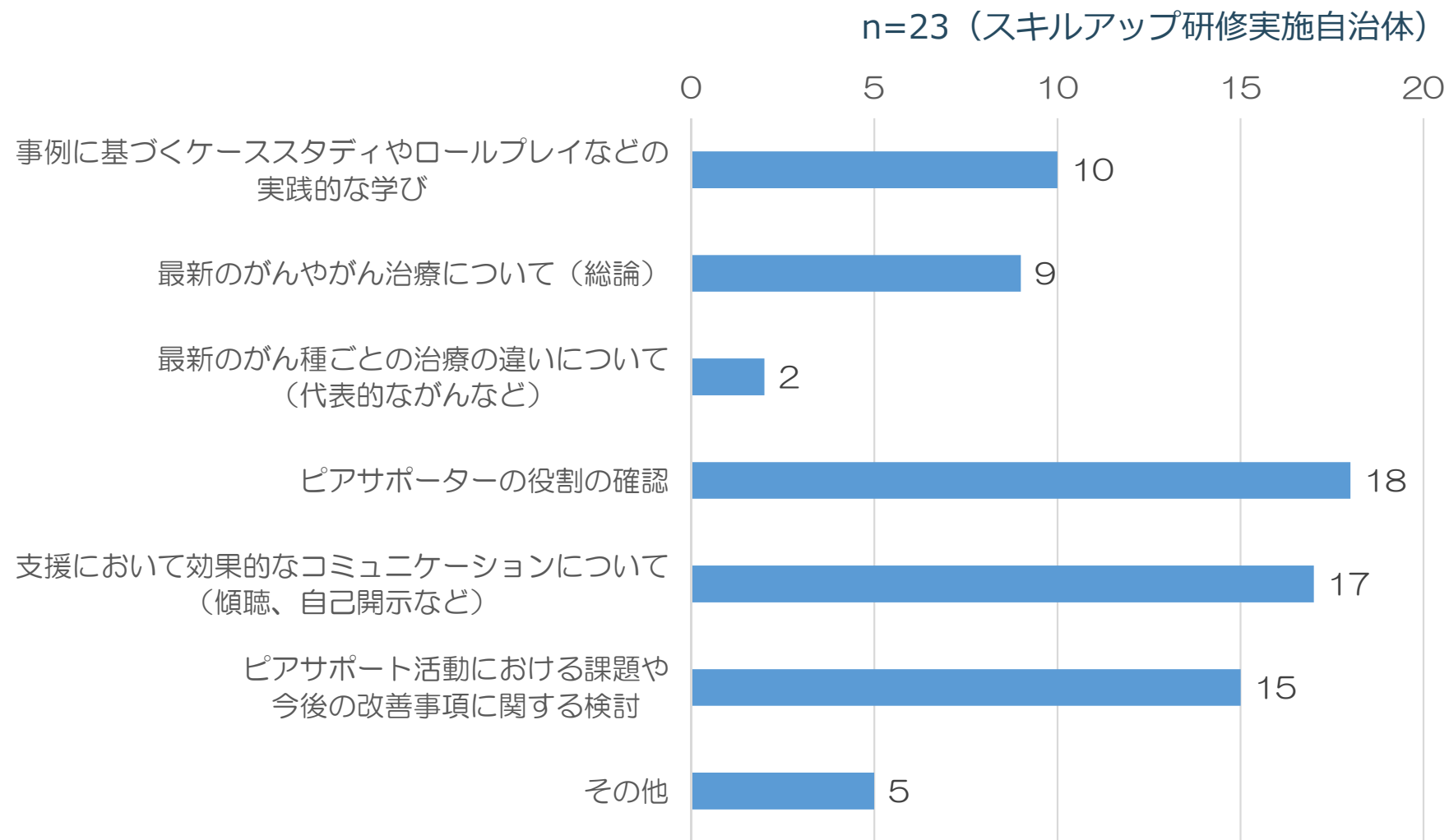
n=29



都道府県のピアサポートに関する取り組みの現状

- 委託事業作成の利用状況：
 - テキスト： そのまま利用 6、一部利用10、利用せず 11
(理由： 委託先に任せている、講師に一任、独自に実施、等)
 - DVD : そのまま利用 6、一部利用 3、利用せず 17
(理由： 委託先に任せている、講師に一任、独自に実施、等)

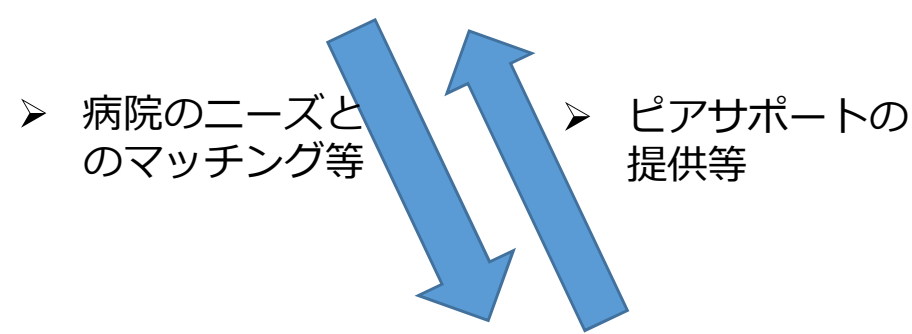
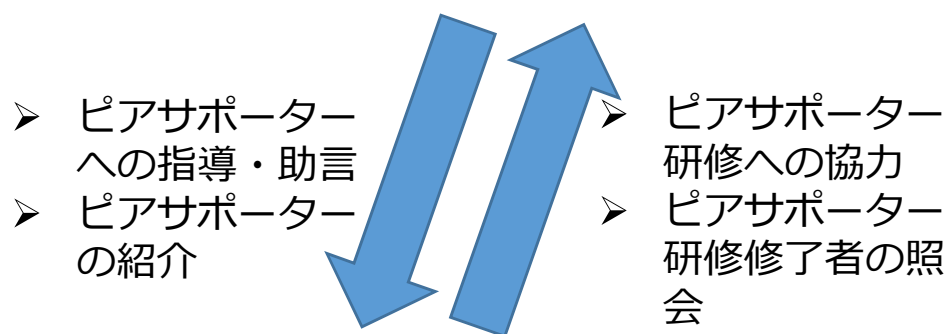
ピアサポートの研修内容（スキルアップ）



ピアサポートに関する連携体制の一例

地域統括相談支援センター（都道府県事業）

- ピアサポーター研修
（養成・スキルアップ・フォローアップ・指導者等）
- ピアサポーターの登録・派遣
- ピアサポーターによる相談支援



がん診療連携拠点病院等

- ピアサポーターによる個別相談やがんサロンの運営

がん患者団体等

- がん体験の共有・精神心理的支援
- 必要に応じた情報提供

ピアサポートの現状と課題

- マネジメントで果たす役割の検討
 - 地域統括相談支援センター等県単位でのマネジメント体制（教育体制・内容の把握、病院との調整、フォローアップ等の仕組み）
 - ピアサポートについては、フォローアップ研修・運用が重要（質の担保）
 - 拠点病院で開催する際に同席して、病院とのやりとりの窓口になる
 - トラブルへの対応
- 医療、行政側への情報提供
 - 「安心できる質の担保」： マネジメントで達成する課題
 - ピアサポートに関しては、参加すると言う点では求められる質はない
 - 定期的なフォローアップとコアとなる人にはトレーニング（特に医療機関で行う場合）
 - 定期的な更新制度
 - 地域でのピアサポートの研修内容を把握し、必要な知識は確保する必要